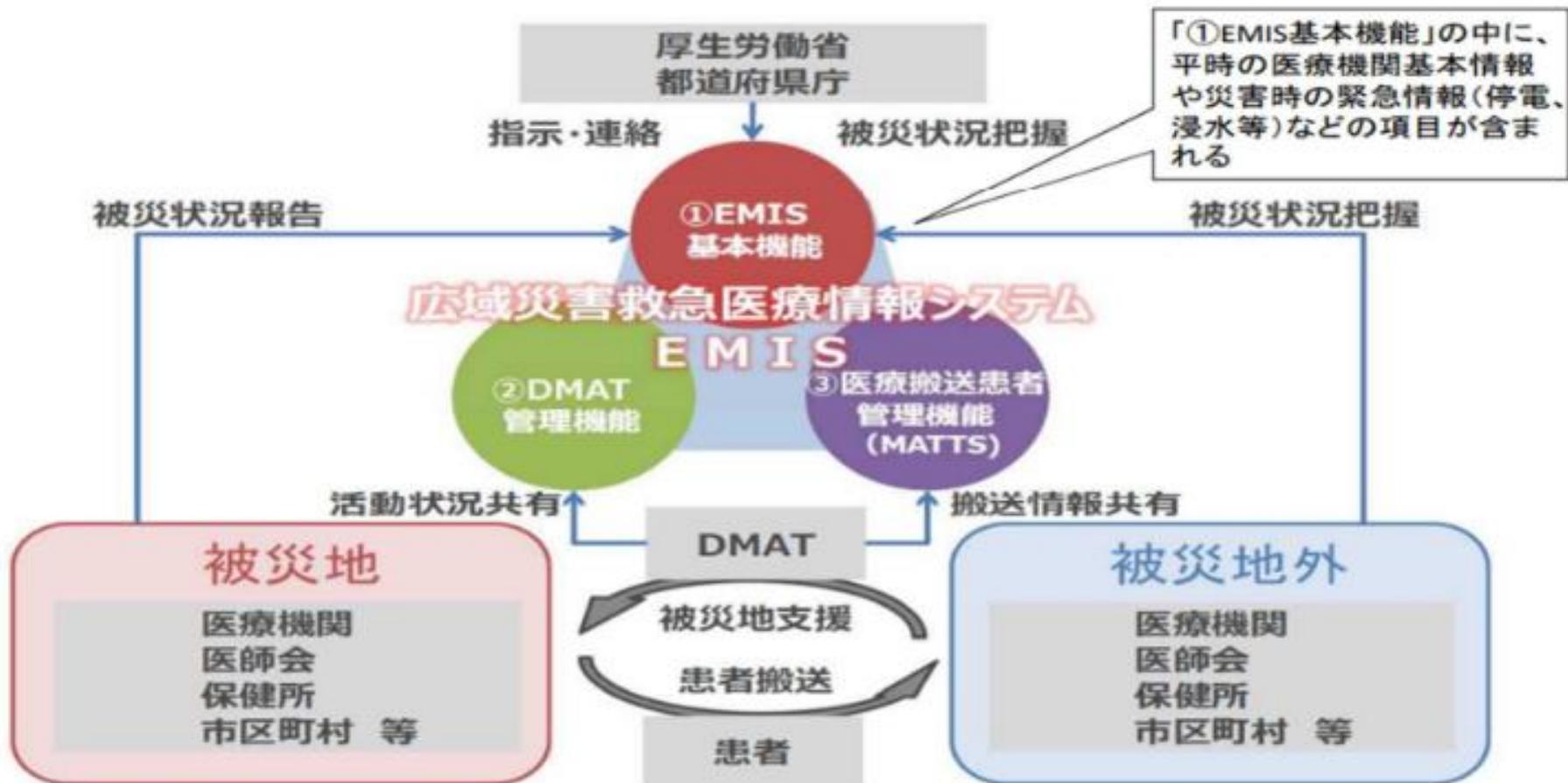


EMISは、被災した都道府県を超えて災害時に医療機関の稼働状況など災害医療に関わる情報を共有し、被災地域での迅速かつ適切な医療・救護に関わる各種情報を集約・提供することを目的としたシステムです。

EMIS = **E**mergency **M**edical **I**nformation **S**ystem



EMISのサービス刷新

EMISは、阪神・淡路大震災を契機として平成8年から運用を開始しましたが、南海トラフ地震等の発生確率が高まっていることを踏まえ、機能面など様々な課題に対応するため、令和7年4月にインターフェースや一部機能を刷新しました。

新しいEMISはアクセスが集中しても止まりにくく、迅速に改修でき、他のシステムとも柔軟に連携できるプラットフォームとなっています。

※新しいEMISの本格稼働は、令和6年度の試行稼働を経て、令和7年3月28日より開始しました。

旧EMISの課題

新しいEMISのポイント

止まらない

✓ 集中アクセス時に安定しない

➤ 汎用クラウドサービスで安定稼働に

使いやすく
迅速に

✓ UI（視認性、動作性、通信性等）の向上
✓ PCでは手軽に被災状況を入力できない
✓ 被災状況報告項目が多く入力に時間を要する

➤ デザインを一新して直観的に見やすく使いやすく
➤ スマホに最適化されたWebサービスでどこからでも簡単に

連携性

✓ 外部システムとの連携に工数や時間がかかる

➤ システム連携基盤を備え、システム間連携を柔軟に

情報共有

✓ 利用者双方向のコミュニケーションを取ることができない

➤ チャット機能実装で円滑なコミュニケーションを促進

平時の
備え

✓ 医療機関の基本情報に収集が不十分

➤ G-MISの汎用調査等で平時から情報を蓄積、有事に活用

EMISポータルサイト「[EMISポータルサイト | 厚生労働省](#)」より抜粋

利用者ごとの利用できる機能

主な利用者区分		主な機能
組織	医療機関(病院、有床診療所)	医療機関ダッシュボード、基本情報入力／緊急時入力、被災状況の詳細入力、DMAT／DPAT／災害支援ナースの登録、DMAT隊員管理編集、搬送患者の受入状況
組織	都道府県	モード切り替え、本部・拠点情報、研修・訓練管理、DMAT研修受講者管理、緊急情報・お知らせ、通知送信
組織	市区町村、保健所、消防等	各画面参照
組織	災害医療コーディネーター等	救護班登録
組織	医療関係団体(医師会等)	救護班登録
個人	DMAT、DPAT、災害支援ナース	ダッシュボード、本部・拠点情報、医療機関緊急時入力画面(代行)、医療機関詳細入力画面(代行)、救護班登録、診療地点マスター一覧／登録／編集、患者情報入力(医療搬送患者含む)、搬送患者の受入状況、チーム登録、活動状況入力
個人	JMAT、日赤救護班等	医療機関緊急時入力画面(代行)、医療機関緊急時入力画面(代行)、救護班登録、診療地点マスター一覧／登録／編集、患者情報入力(医療搬送患者含む)、活動状況入力

EMISポータルサイト「[EMISポータルサイト](#) | [厚生労働省](#)」より抜粋

○従来のEMISからの変更箇所

- 追加 チャット機能、J-SPEED可視化機能、その他システム(※)との連携 等
- ※G-MIS、D24H、PEACE、SOBO-WEB 等
- 廃止 避難所状況入力 等